

学校給食調理業務

学 務 課

1. 目的

安全で安心される学校給食を提供し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図り、日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養う。

2. 内容

小学校14校、中学校7校の児童・生徒を対象に学校給食を提供している。食育の面から栄養職員等が各学校を訪問し食の大切さ、栄養のバランス等の指導を行っている。

3. 実施状況

(1)友部地区(自校方式)

- ・給食提供回数 年193回
- ・給食献立 1献立(米飯回数 週3回から3.5回)
- ・対象校及び児童生徒数
小学校 2,016名・中学校 1,042名・教職員等 226名 合計 3,284名
- ・職員数等(宍戸小・大原小・友部二小・友部二中)
栄養職員 3名(北川根小・友部小学校・友部中学校)
調理員 15名(正職員14名・臨時職員1名)
- ・調理業務委託
北川根小学校・友部小学校・友部中学校
- ・給食費
小学生 月額 4,300円・中学生 月額 4,800円・教職員等 月額 4,800円

(2)笠間地区(センター方式)

- ・給食提供回数 年196回
- ・給食献立 2献立(米飯・パン・メンの2献立方式)
米飯回数(週2.5回)
- ・対象校及び児童・生徒数
小学校6校 1,500名・中学校4校 691名・教職員等201名 合計 2,392名

・職員数

事務職 3名

栄養士 3名（栄養教諭1名，技師1名，嘱託職員1名）

調理員 20名（正職員9名，非常勤職員11名）

・配 送 業者委託（配送者3台）

・給食費

小学生 月額 3,800円・中学生 月額 4,100円・教職員等 月額 4,100円

(3)岩間地区(センター方式)

・給食提供回数 年196回

・給食献立 1献立（米飯回数 週3回）

・対象校及び児童・生徒数

小学校3校 872名・中学校1校 468名・教職員等 111名・合計 1,451名

・職員数

事務職 2名

栄養士 1名

調理員 10名（正職員3名・非常勤職員7名）

・配 送 業者委託（配送車1台）

・給食費

小学生 月額 4,100円・中学生 月額 4,500円・教職員等 月額 4,780円

4. 内部評価

学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであるため、継続実施する。学校の給食費が地区により異なっているため、早期の統一が必要である。また、給食センターにより献立が違っているため、献立の統一については、検討が必要である。

5. 外部評価委員会の意見

必要性		有効性		効率性		総合評価	
<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> ある程度認められる	<input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり継続	<input type="checkbox"/> 改善し、継続
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	<input type="checkbox"/> 休止又は縮小	<input type="checkbox"/> 民間に移管
<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> あまり高くない	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了
<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い	<input type="checkbox"/> 非常に低い		

○費用の問題も含めて将来計画が具体的になっているようなので特に問題はないと思う。

○学校給食調理業務の必要性・有効性は非常に高い。一方で献立が各地区において違うこと及び学校給食費も地区によって異なっていることについては、保護者負担の均衡化のためにも早急な改善が必要と認められる。

○学校給食は、単に「1日3食のうち1食」のみならず、食育も含めた幅広い意義があると思います。市内での給食費、献立等の不統一の部分を統一していく必要があると思います。調理中や配送時に事故のないよう、また、衛生管理に注意して、実施されるよう望みます。

6. 外部評価に対する改善等の取り組み

学校給食費については、平成22年度の学校給食センター運営委員会において、給食費を統一するよう答申があり、平成23年度から全地区同額とすることとなりました。

献立表の統一については、平成24年2学期から新しくスタートする笠間学校給食センターを契機に統一できるよう栄養士会において準備を進めてまいります。

食育については、平成21年度から笠間市に栄養教諭が1名配置されており、笠間地区の小中学校を主な対象として給食時間を活用し、栄養指導、食の大切さ、感謝の気持ちを子ども達に理解をしてもらえよう栄養士、調理員とともに活動しています。今後、市内全小中学校を対象に活動できるような体制づくりを進めてまいります。